



編集・発行
千住消防団編集委員会
印刷：機SGネクスホールディングス

千住消防団長交代式

第12代千住消防団消防団長（星和良氏）が令和7年3月末日を持ちまして 退任されました。星和良氏は、令和3年4月



に団長に任命されて以来4年間、千住の街の安全・安心を守るために各種災害の防除に努め、区・町会イベントの警戒活動、地域の方々への防災指導や消防団員の育成など多岐にわたり活躍をされ、厚い信頼を受けておられました。

第13代消防団長には、小池栄一副団長が就任いたしました。



第13代千住消防団長就任挨拶

身に余る大役を仰せつかり、改めてその責任の重さを痛感するとともに、千住地域の皆様の生命・身体・財産を、今一度心に刻んでいるところであります。

足立区は都市化の進展とともに多様な災害リスクを抱える地域であり、地域防災の最前線を担う消防団の役割は年々重要性を増しています。

平時からの訓練・連携、災害時の迅速な対応、地域とのつながりの強化など、団員一人ひとりの力を集結し、地域の皆様が安心して暮らせる地域社会づくりに全力で取り組んでまいります。

また、近年は消防団の活動内容や魅力を広く伝え、次世代を担う若い力の確保・育成にも注力しております。時代の変化に即した柔軟な組織運営を心掛け、誰もが誇りを持って活動できる消防団を目指してまいります。

結びに、これまで千住消防団を支えてこられた歴代の団長をはじめ、諸先輩方のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます

第13代千住消防団長 小池 栄一

はたらく消防の写生会を実施

今年も、第74回はたらく消防の写生会が行われました。

この写生会では、児童に消防の仕事に関心を持ってもらい、防火防災の意識を育むため実施しています。

写生会には消防署のポンプ車とともに、消防団から各分団の可搬ポンプ積載車も参加しました。

地域の消防団員の参加に、児童たちも興味津々で話しかけたり、資器材や装備について質問をしたりしていました。消防隊も、消防団も子供たちの一生懸命クレヨンを走らせる姿にとっても力をもらいました。

8月に実施される展



示会に向けて、どんな作品が出来上がるかとても楽しみです。

第47回千住消防団消防操法大会開催

令和7年5月25日（日）足立区千住緑町三丁目にある帝京科学大学千住キャンパスのグラウンドにて、第47回千住消防団消防操法大会を開催しました。

今年度も出場団員は、本業の傍ら平日の夜間や休日日中の時間を活用し、分団ごとに集合して訓練を続けてまいりました。大会当日は例年以上に白熱したものとなりました。

消防団消防操法は、可搬ポンプ操法のうち基本操法及び付加操法「ホース1本増加」から構成され、史上初めて女性団員のみで編成した第1分団を含む計8隊が優勝を目指して出場しました。消防団操法の習熟度、敏速な行動動作、指揮、規律及び節度についての審査が行われ、各分団ともこれまでの訓練成果を発揮し、いずれも技量伯仲のなか、優勝が第8分団、準優勝が第2分団、第3位に第7分団との結果となりました。

当日は足立区長をはじめ、多数の来賓のご臨席を得て、盛大に



挙行されました。来賓の方々からは、団員の勇姿に対し「士気旺盛、規律厳正な皆様の姿に大変頼もしく思った」との言葉を頂き、団員の士気もより一層高まりました。今後、団操法により熟練した技術を活かして、都民防災の任務を遂行していく所存です。



幹部コラム

団本部 副団長 金子祐司

千住消防団の直面している最大の課題は、団員数の充足率の低下及び団員の高齢化です。その問題を解決出来る特効薬はありませんが、団員皆様のお知恵をお借りして、少しずつでも解決できるように進んでまいりたいと思います。

そして、消防団の任務である大規模災害の被害を最小限に抑えるために、各個人の技術・知識の向上、消防署との連携が必要不可欠です。さらに災害が発生した時に被害を最小限にするためには、一人でも多くの防災リーダーを育てることが、大事だと考えます。

各分団において消防団活動に邁進していただき、地域の防災リーダーとして活躍してください。よろしく願います。

分団だより

第8分団 団員 新藤 圭

仕事の関係で少しの間、休団していましたが今年から復帰いたしました。

久しぶりの活動にも関わらず、分団長をはじめ団員の皆様には以前と変わらぬ温かい雰囲気でご案内いただき感謝しています。今年の消防団操法大会では2番員として出場し、皆様のご指導ご支援のおかげで見事、優勝することが出来ました。これからも地域の為に貢献できるように努めて参ります。

編集後記

第1分団 班長 加藤 貴子

団操法大会当日の天気が心配でしたが、無事開催されました。訓練実施者から運営や係員の皆さん本当にお疲れ様でした。

第1分団は女性だけのドリームチームで参加いたしました。3か月の間は個人のスキル、チームのスキルを上げるためにみんなが一致団結して頑張りました。

選手一人ひとりが目標を持って努力する姿を見ながら補助員として私も毎回感動しながら訓練に参加させていただきました。

訓練終了後、今録画した操法の動作を見ながら指導員の方と選手がどこをどのように修正していくのか、どうしたら良くなるのか、こんなところは良く出来ている等のディスカッションも段々と熱くなり本番が来るのが楽しみでした。見守りながら熱く指導してくださる皆様、応援でお手伝いしてくださる皆様の姿をいつも見ながら感謝の気持ちでいっぱいでした。

終わってみると訓練していた時間が物寂しい気持ちにもなります。これからも消防団の一員として消防団活動頑張ります。

東京都防災アプリができました！

いつも・いざという時にも役に立つ、東京都公式の防災アプリです。

このアプリは「あそぶ」「まなぶ」「つかう」をコンセプトに、防災ブック「東京くらし防災」「東京防災」をはじめ、災害への備えや災害時に役立つ多くのコンテンツを利用できます。

マイエリアを設定しておけば最新の災害情報を確認することが出来ます。さらに防災マップを備えており、水害リスク・地域危険度等の情報、各種防災施設や災害時帰宅支援ステーション等の位置が確認でき、「雨雲レーダー」「オンラインマップ」「水害リスクマップ」「地域危険度マップ」を1画面で簡単に切り替えて表示が出来るので便利です。

現時点の避難シミュレーションや家族構成などの簡単な質問に答えるだけで必要な備蓄品目や数量が分かる「東京備蓄ナビ」や「被害想定」、事前のグループ連絡先を登録することで位置共有が出来たりもします。まだまだ紹介しきれない多くのコンテンツがあり、アプリを入れておく価値あります！

